

2022 年度全日本オリエンテーリング選手権大会

(ミドル・ディスタンス競技部門、ロング・ディスタンス競技部門)

参加同意書

1. 自然環境の中で行われるオリエンテーリングの特性によって生じる一般的なリスク（※次頁参照）や、完全には予期できないトラブルが起こりえるスポーツであることを理解したうえで、参加します。
2. 主催者が定めたすべてのルール、注意事項を遵守し、さらに環境保全にも十分配慮して大会に参加します。
3. 大会当日、体調が悪い場合は自主的に参加を見合わせます。参加にあたっては、安全および健康管理に十分注意し、体調等に異常が生じた場合はすみやかに競技を中止します。
4. 大会中に傷病が発生した場合、応急手当を受けることに異議はありません。この場合の補償は主催者が加入した保険の範囲内であることを承諾します。
5. 貴重品や手荷物などの管理は各自の責任とし、紛失、盗難などについて、主催者は一切の責任を負わないことを承諾します。
6. 以下の事項を確認のうえ、主催者が個人情報を取得することを承諾します。
 - ・ 主催者が取得した個人情報を、本大会開催にあたり必要となる作業の範囲外の目的で使用しないこと。
 - ・ 主催者が取得した個人情報は、委託業務、法律上公的機関への届出・提出が必要な場合、事故等での緊急時を除いて第三者へ提供しないこと。
 - ・ 主催者が取得した個人情報について、本人から開示、内容の訂正、追加、削除の求めがあった場合、すみやかに対応すること。
7. 地震・災害・風水害・荒天・天災・降雪・事件・疫病などによる開催縮小・中止については、主催者が判断し、決定することを承諾します。またその場合、参加費の返金については主催者の判断に従います。
8. 大会出場中の映像・写真・記事・記録等（氏名・年齢・性別・記録・肖像等の個人情報）を新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレット等に報道・掲載・利用されることを承諾します。また、その掲載権・使用权は主催者に属することを承諾します。
9. 新型コロナウイルス感染症について
 - ① 大会当日、以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせます。
 - ・ 新型コロナウイルスに感染している、または感染が疑われる場合
(例：発熱、咳、咽頭痛、全身倦怠感、嗅覚味覚障害等の症状がある場合)
 - ・ 新型コロナウイルス感染者との濃厚接触者に該当し、待機期間中にある場合
 - ・ 同居家族や身近な人に新型コロナウイルスの感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ② 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従います。
 - ③ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合には主催者に対してすみやかに大会の場での濃厚接触者の有無について報告します。
 - ④ 大会参加中やそのための移動中に、新型コロナウイルスへの感染を受けるリスクがゼロではないことを承諾します。
10. 年齢・性別等の虚偽申告、本人以外の出走（代理出走）はしません。
11. 大会当日以外の今大会使用地図を使用した入山（登山道を外れる行為）は行いません。

私は上記内容に同意のうえ、本大会に参加します。

未成年（18 歳未満）の参加者の場合：私は保護者（法定代理人）の同意を得たうえで本大会に参加します。

※オリエンテーリングで起こりうる一般的リスク及び対策

① 穴への転落

れき地形の中には深い岩穴が点在します。転落すると自力で出られない深い岩穴もあります。足元の安全を確保しながら進むことでリスクを低減できます。また転落時に備えてホイッスル（笛）や携帯電話などの携行を推奨
します。初心者、初級者クラスではれき地形内は主に道を利用します。

② れき地による転倒・外傷

切創、裂創、刺創、打撲、捻挫、脱臼、筋腱断裂、骨折、内臓損傷、などがおこる可能性があります。転倒では、足関節や膝関節の捻挫、靭帯損傷、手をつくことによる手の創傷、手関節部での骨折、肘関節の脱臼などが起こりやすいです。創からの二次感染（破傷風など）の危険性もあります。

足元の安全を確保しながら進むことでリスクを低減できます。また、転倒に備え、レガースやグローブ等の着用を推奨します。

③ 道迷い

オリエンテーリングでは「道迷い」のリスクがあります。

現在地を見失った場合は林道に出ることで比較的容易に現在地を把握できます。なお山から道路に出る場合は安全に下りられる場所を選んで通行してください。森の中では日没時刻以前にも、地図も読めない程暗くなります。必ずフィニッシュ閉鎖時刻までにフィニッシュへ戻ることを意識してください。

時間までにフィニッシュ（会場）に到達できない場合は、暗くなる前に林道に戻り、林道や道路を使ってフィニ

ッシュに向かうようにしてください。

④ 低体温

天候の良し悪しに関わらず低体温になる可能性があります。低体温症予防のため、長袖長ズボンでの出走を推奨します。降水時には綿ではなく化繊のアンダーウェアを着用する等、防水性のオーバーウェアを利用することも検討してください。

⑤ 脱水症状

山での行動は長時間に及びます。必要に応じて、飲料水を携行してください。携行しない場合は、事前の水分補給をしっかりと行ってください。コース途中に自動販売機はありません。日本オリエンテーリング競技規則 16.8 項に基づき、想定ウイニングタイムが 30 分を越える場合は、少なくとも 25 分ごとに給水所を設けております。

(地図上の紙コップマーク)

⑥ 転落・滑落

急な斜面や法面、がけなどがあります。やみくもに進まず周囲の安全を確保しながら進んでください。

⑦ 落石

急な斜面や法面の下側などで落石の可能性があります。小石が転がる場所などでは上方の安全も確認しながら進んでください。

⑧ 踏み抜き

整備されていない道を利用するため踏み抜きの可能性があります。なるべく底の丈夫な靴の利用をおすすめします。

⑨ 野生動植物による事故

クマ、シカ、イノシシ、スズメバチ、マムシ、ヒル、マダニ等のヒトに危害を加えうる動植物の生息地である場合があり、遭遇による事故が起こる可能性があります。動物に対しては万一遭遇してもいたずらに刺激しないようにしてください。近隣地域でクマの目撃情報があるため、熊鈴など音の出るものの携行を推奨します。

⑩ その他

転倒による骨折・捻挫、急病・体調不良による停滞と救助の遅れなど、一般的なアウトドア活動と同等のリスクがあります。

※救助を待つ場合

万が一動けなくなった場合は、なるべく大きな音を出し、他の競技者に救助を求めてください。可能な限り、近くの救護所・給水所・近くのコントロール・林道に出て救助を求めてください。携帯電話を携行している場合は、ただちに地図に記載されている緊急連絡先に連絡をしてください。

※救助対象者を発見した場合

救助対象者を発見した場合は、ただちに競技を中止し救助対象者の救護を開始してください。